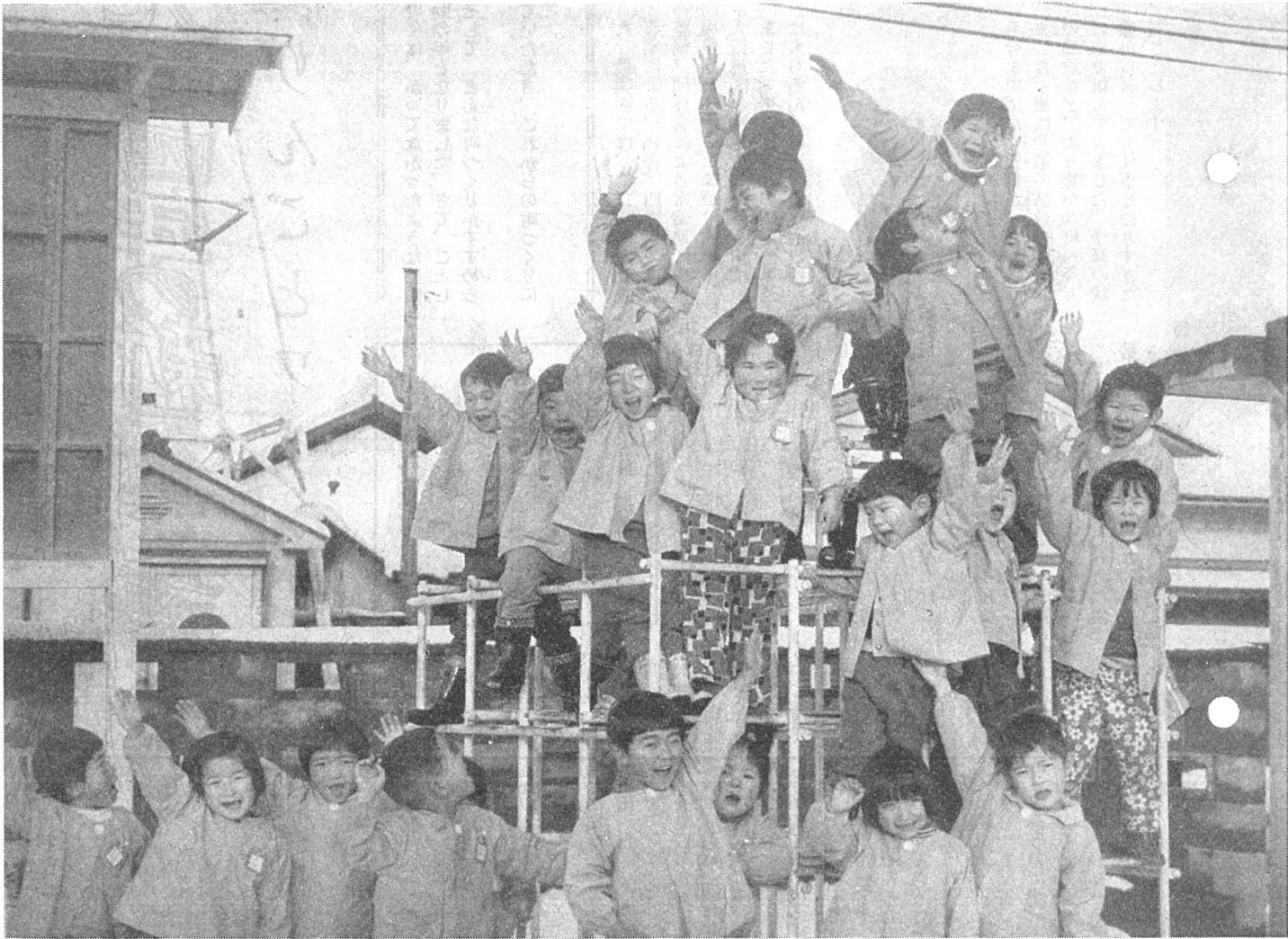


広報

のあさひ

No. 206

49 / 1



《 さあ、新しい出発だ! 》

明けましておめでとうございます。いよいよ昭和49年の新春、また新しい出発の時がやって来ました。出稼ぎされている方も工場で働く人も、農家の人も、勉学されている子どもたちも、未来に向かって、明日に向かって、力強く新しい第一歩をふみ出そう

エネルギー危機、物資不足、物価の高騰など、心配ごとも少なくありません。しかし、町民みんなが力を合せて、それらを乗り越えよう。そして、豊かで住みよい郷土を切り開こう。

〈写真＝元気いっぱいの子どもたち、中部保育所で〉

新春放談

一九七四年の新春を語る

……りんごとワインの町に……

いよいよ一九七四年の新春です。昨年は、かつてなかったような物価の高騰、物資不足など、経済的な激動の年となりました。さて、こしは一体どんな年になるのだろうか。そして、どんな町づくりがすすめられるのだろうか。

志藤町長など、三人の方に出席していただき、これからの町づくりについて話合っていました。

昨年は

激動の年

司会 昨年は、かつてなかったような経済の変動など、激動した年だったようですが、新年を迎えての抱負などみなさんから出していただきたいと思えます。まず、その前に、昭和四十八年の足跡を少し振り返ってみたいと思えます。



(志藤町長)

志藤 はじめに、町民の皆さんに明けましておめでとくと申し上げたいと思えます。今司会からもありましたように、まさに激動の年であったと言えるようです。町づくりの足跡としては、産業基盤の整備を重点として取り組んできました。

た。農業面では、第二次構造改善事業による、和合、四の沢のほ場整備、団体営による常盤地区のほ場整備をすすめたほか、大暮山、大沼地区の園地造成事業もすすめました。道路網では、国道・県道はもちろん、町道・農林道の整備

出席された方

(敬称略)

- | | |
|---------|-------|
| 朝日町長 | 志藤 武志 |
| 大谷農協長 | 白田要右門 |
| 町青年団副団長 | 大井 寿一 |
| 企画開発室長 | 長岡 秀行 |

白田 町長さんから激動の年だった、という話がありましたが、農業においても全く激動の年であったと言えるようです。春、秋の長雨、夏の日照り、早雪など悪天候によって、ほとんどの作物が被害をうけました。養蚕・ホップ・肉牛などがわずかによかっただけで

農家は本当に大きな痛手をうけています。それに困ったことは、今も話があったように石油危機にもなっており、ポリエチレンなどが不足しています。さらに肥料や飼料など農業に必要な物資が制約されるようになっており、こうした情勢にどう対処するか深刻な問題につきまっています。また、企業を

【道路整備も大きな課題】四ノ沢バイパスにも着手

誘致して町民の所得を向上させるといった町長さんの話もありましたが、農家の中堅青年が次々と工場に転業する傾向にあり、困った問題だと思えます。

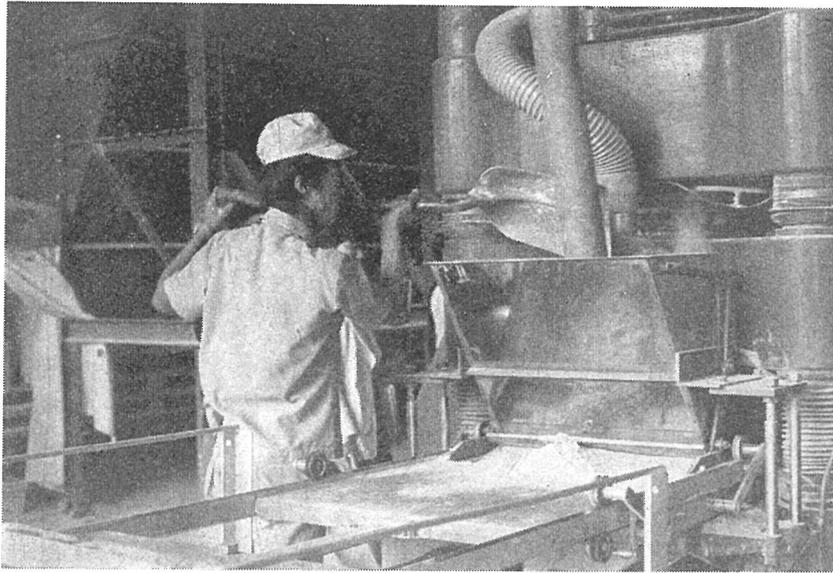


大井 私も組合長さんの意見に同感です。工場誘致が悪いというわけではありませんが、最近の状態を見ますと、やるせない気がします。毎朝、工場のマイクロバスが従業員を迎えにきますが、部落の若い仲間たちが次々とマイクロバスに乗って勤めに出て行くのを見ていると、農業をやっている自分には何か反発したいような気持ちになります。何か農工一体化の在り方というものをと反省してみることがあると思うのです。それから、青年団なども最近では何かバラバラになっているという感じがします。工場勤めが多くなつたこともあるようだし、青年団の

産業基盤の整備すすめる

整備すすめる

志藤 町づくりの基本的な方針は今までと変わりません。やはり、前



年の実績の上に立って、第二次農業構造改善事業などによるほ場の整備(中郷、太郎、松程、釜山など)をすすめるほか、道路網の整備も、昨年からの継続のものを中心に強力にすすめたいと思います。道路関係では、継続のものその他に、栗木沢バイパス、五百川橋のかげかえ、太郎トンネルの改修、大杉橋の架橋などにも着手するよ

う強力に働きかける考えです。農業面では、基盤整備のほかに養豚の振興、ぶどう園の造成と合せた大谷ワイン工場の実現、農村環境整備モデル事業の地域指定の実現などをすすめます。そのほかでは、中部保育所の建設、統合中学校の建設、部落公民館の充実などもすすめます。やらなければならないもの、解決しなければならぬ問題など沢山ありますが、先にも申し上げたように、物資不足や公共事業の削減などもあり財政的にもかなりきびしい状態で、どうしても消極的にならざるを得ないようです。

【いくつかの企業が誘致された】

ワインの町を 実現したい

司会 農業の立場からはどうでしょうか。

白田 やはり今も申し上げたように夢もいっぱいありますが、その前に物資不足などの現実はどう対処するか、ということが問題だと思います。金があっても物が買えないという世の中です。農産物を売るには今までと変りはないが、農業に必要な物資を買うのは難しくなっています。



(白田農協長)

しかし、農業にも明るい夢がいっぱいあります。その夢をみんな

で真夢に行きたいものです。その第一の夢は、農林省で新しく「農村環境整備モデル事業」の制度をうち出した事です。これは地域指定をうけてはじめて事業をやれるわけですが、指定をうければほ場整備や農道の整備はもちろん、抜本的な農村の環境整備がすすめられることになり、是が非でも指定をうけるように、町をあげての運動を続けたいと思います。第二の夢はワインづくりです。いま大谷農協でぶどう酒を作っ

ていますが、ぶどう酒から脱皮してワインとして売り出したい。朝日町には上郷・白倉などワイン用のぶどう園の適地がいっぱいあるの、ぶどう園を大々的に造成し、ワイン工場も建てて、ワインの町として大きく伸展させたいと思います。

特質を生かした 農業を

大井 ワイン工場の話ができましたが大いにやっほしいと思います。やはり、朝日町の特質を生かした農業がどうしても必要だと思っんです。自分たちも、いま、いちごや白菜など高原野菜を作っ、直接市場に出したりしています。平野部と同じ農業をやっていたんでは、絶対負けてしまいます。これからの農業は、朝日町の特質を生かしたものにすることが、ますます必要になると思っんです。そして、単に生で売るといっのではなく、加工して販売することを考えるべきではないだろうか。

白田 全く同感ですな。特性を生かした農業を、われわれももっとすすめる必要があると思っんです。ただ、農協や農家だけで農産物の加工をやるというの、いろんな難かしい問題も出てきます。やはり、公営として、つまり町の事業としてやっほしい必要があると思っんです。ワインなどもそのとおりです。もちろん、農協も農家も

一体となって参画しなければなりません。

志藤 ワインや農産物の加工を公営で……と言った話が出されましたが、これも難かしい問題です。やはり、農協に中心となっほしい、町もタイアップしてやるというようにすべきでないだろうか。

司会 町と農協がタイアップしてやる、という話が出ましたが、朝日町の特産であるりんごなども、生かして行くべきでないだろうか。白田 確かにそうです。朝日りんごは中央市場でも不動の地位にあるわけで、高級りんごの生出荷も当然伸ばして行くべきでしょう。それと同時にりんごの加工もぜひすすめたいと思っんです。今工業試験場でサクランボからブランドーを作る試験をしていますが、その加工を朝日町でやりたいと思っています。りんごブランドーなども作りたいたと思っんです。

大井 やはり、生と加工とをうまく組み合せて行くべきではないだろうか。われわれも高原野菜を作っているが、山形市あたりも年々人口が増えており、市の近郊だけでは農産物の供給がでなくなっています。そうしたことを考えても、生物はまだまだ伸ばせると思っんです。ただ、生出荷だと荷痛みが出るし、ダブつけば叩かれることになるので、加工と合せて有利な販売をすることだと思っんです。立木になめこ加工場があります。が、なめこだけでなく、山菜や野



【ワインの町を作ろうという夢をもちながら、ぶどうの加工が行なわれる。—大谷農協で】

菜の加工もできるようにすべきではないだろうか。町でもぜひバツクアップしてほしいと思います。志藤 確かに高冷地など町の特性を生かして行く、農産物の加工をすすめるといったことは必要です。町でも、二期対策や今作成を急いでいる基本計画の中で、そういったことを考えていますが、実際にやる人がいない悩みをもっています。話に出たワインやりんごや

山菜など、郷土の特産物を生かして、観光的なものと結びつけたものとして、大きく伸ばしたいと考えています。

農協の合併を

すすめたい

司会 農産物の加工や販売面に力を入れる、となると現在の農協の体制ではだめでないかと思うのですが……。

つまり合併が必要でないかと言いかと。大井 合併の話は何年も前から出ているが、今もって実を結んでいない。本当に残念なことです。組合の実権にぎっているのは、じ

いちゃんたちです。しかし、これからの農業を担って行くのは、われわれ若い者(後継者)なのだから、もっと若い人たちの考えも反映されるようにしてほしいものです。



(大井副団長)

白田 もっともなご意見だと思えます。やはり、組合員は世帯主一人であり、これから農業をやって行く後継者の考えが十分に反映されないという、農協組織のあり方にも確かに問題があるでしょう。

しかし、合併はどうしてもやらなければなりません。合併をした方がよいのかどうか、必要か必要でないかなどと言っている時ではありません。どうしても合併をしなければ、今もって実を結んでいない。本当に残念なことです。組合の実権にぎっているのは、じ

志藤 全くですなア。町の農業を振興させて行く上でも、何かと都合だし、第一農家の人自身が困ると思います。町でも、一日も早く合併できるようにがんばりたい

と思っています。司会 農協の合併問題も、ことの焦点の一つになりそうですね。ところで、農業の話題が中心になってきましたが、それ以外のことで何か話を出してください。

企業の誘致は

もうたくさん

大井 先ほども出ましたが、企業をどんどん誘致しての農工一体化のあり方というのものは、考えなおしてみる必要があるのではないだろうか。とくに、優れた農地が次々と工場が潰れて行くのは、全く忍びない気持ちです。

白田 全くですね。企業を誘致して町民の所得をあげるのはいいとしても、企業誘致は農業にはマイナスです。耕地もつぶれるし、後継者も少なくなります。企業の場合には経済の変動でいつ倒産するかもわからないという危険性もあるわけです。そう言ったことや、もっと広く将来のことまでも考えた農工一体化というものを望みたいですね。

志藤 確かに企業誘致によって立派な農地を潰さなければならぬのは問題があるでしょう。朝日町では、地理的な問題などから三カ所に分散誘致しましたが、あるていどの企業も誘致されたし、新しく誘致するのは見合わせる考えで

みんなで力を合せるとき

町議会議長 鈴木幸次郎
町民のみなさん、あけましておめでとうございませう。

昨年町政をふり返ってみるに、農工一体化や道路網の整備など、大きく躍進した年であったと思います。

しかし、昨年の後半から、突如として降って湧いたような石油危機の問題が生じ、終戦直後を思わせるような物資不足、物価の高騰など、経済の激変が見られたわけです。



果たして今年はどうなるか農業の問題

にしても、商工業にしても、近年にないきびしい年になりそうです。この難関を突破するには、町も議会も、町民の方も一丸となって対処しなければならぬと思います。

町政にとっても、農業基盤の整備、道路網の整備、中学校の統合など多くの問題をかかえています。

われわれも議会の立場からこれら課題解決のために全力をあげて取り組まねばならぬと思います。町民各位のご支援を願って止みません。



わが町には豊かな自然がある。その自然をどう守り、どう生かして行くかが大きな課題。乱開発の汚名を後世に残さないためにも、真剣に考えたいもの。

す。
まだ、中高年層の男子向けの企業は足りないようですが、労働力の状態を見ながら、検討して行く考えです。

みんなで夢を

実現しよう

司会 まだまだ話つきなないと思いますが、最後に、ぜひこんなことを——といったものがありまして、一ことずつ出して下さい。
志藤 はじめにも申し上げましたが、農業の基盤や道路網などを整備して、本当に豊かで住みよい町

にして行きたいですね。

ワインの町、りんごの町といったことも出ましたが、やはり、郷土のそうした産物なども大きく伸ばして、くだものや野菜のかおる町、福祉の町、教育の町、農業、工業、観光がうまく調和した自然の豊かな町、そんなすばらしい町にみんなで作って行きたいと思えます。

白田 やはり、なんとしても農村環境整備地域の指定をうけて、本当に住みよい農村環境を整備して行くことだと思えます。そして、ワインも伸ばさなければなりません。観光農業もよいでしょう。そ

れには、合併もふくめた農協自らの近代化も必要になってきます。

いろいろきびしい条件もあります。が、やり方によっては明るい夢もいっぱいあるわけで、この夢をみんなで真夢にして行きたいですね。大井 若い者の立場からは、農業の問題もありますが、町民プールや町民グラウンド、町民保養所などの施設をぜひ作ってほしいと思います。そして、一人でも多くの青年たちが残りたいと思うような魅力ある郷土にしてほしいと思えます。

志藤 いろいろ貴重なご意見やアイデアなど出していただき、あり

がたく思います。皆さんの話にもありましたように、やり方によっては朝日町はすばらしい町になれる、本当に豊かな住みよい町ができると思えます。

われわれもがんばるつもりです。から、皆さんもバックアップしてください。

とくに、現在作業に入っていますが、ことしの春までに町の総合開発基本構想・基本計画がつかれます。

その中にも、皆さんの話にもあつたようなすばらしい夢やアイデアをたくさんもりこんで行きたいものだと思っています。

近く部落座談会などを開いて、広く町民の方からの提言やアイデアをお聞きして、これからの町づくりの計画の中に生かして行きたいと思うので、卒直なご意見をどしどし出してほしいと思えます。

また、先ほども話になりましたが、どんなにすばらしい計画を作っても、それを実現しなければどうにもなりません。

どうやって夢を実現して行くかが大きな課題です。それには町民の方の力だけではなりません。町民の方の中から「よし俺もやってみよう」という方がどしどし出てほしいと思えます。

司会 まだ言い足りない点もあつたと思いますが、この一年、町民のみなさんにとつても本当によい一年であることを祈りながら、この話を終りたいと思えます。

激動の年に

対処しよう

広報委員長 多田秀雄

町民の皆さん、明けましておめでとございます。

現在は、かつてなかったような経済激変の情勢にあり、ことしは、町の商工業や農業にとつて、あるいは町政にとつても、今までになかったようなきびしさがあるようです。さて、私ども広報の役割については今更申し上げるまでもない



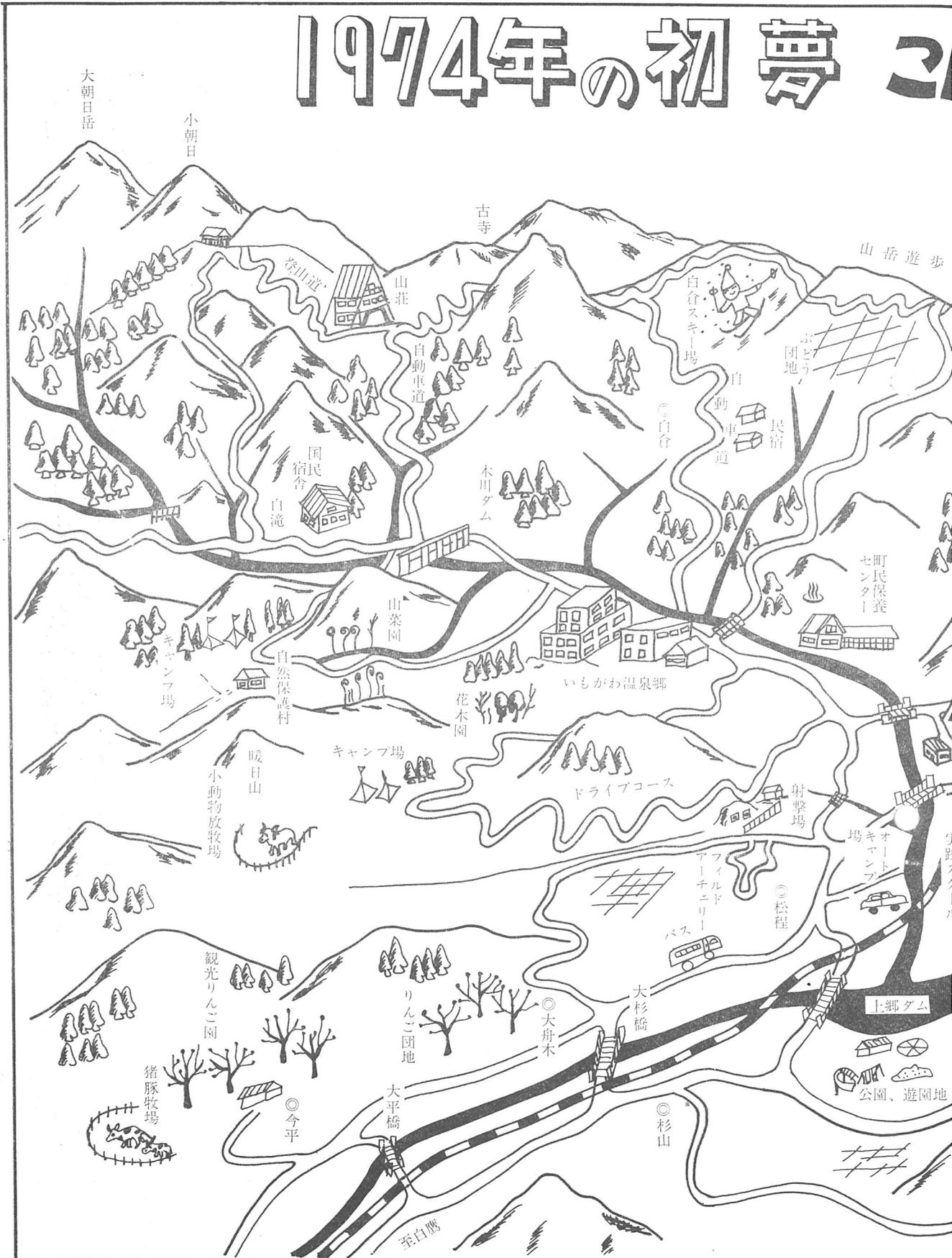
かと思
います
が、住
民の皆
さんに

必要な情報の提供、収集に更力を入れたいと思えます。
町がすすめている施策の内容や将来の構想などを正しく伝え理解を深めていただくと共に、町政に対する皆さんからのご意見やアイデアなどを積極的に出していただき、豊かで住みよい町づくりに資する行政広報にして行きたいと思えます。
私共もみなさんに必要な情報、正しい情報の提供にさらに努力して行きたいと思えます。

んなすばらしい町に



1974年の初夢





【八ッ沼に伝えられる獅子おどり】

そして、文化財の価値は財産的な価値を伴わない場合が多く、案外知らないうちになくなったり、捨てたり、燃やしてしまったりもします。

ですから、大事に保存するためには、その価値をみんなによく知らせておく必要があります。

長いあいだの伝承のため、手を加えたり特別の方法を講じたりし

ないと自然に滅失風化してなくなったりもします。

伝える人がいないと、いつの間になくなってしまふ風習や技術などもあります。大事な文化財でも、個人の持物のままだと、外国に売られたり、町外に売られたりもします。

以上のように、文化財はなぜ保護する必要があるのかといったことがおわかりなつたと思います。

過去、歴史上についてみても、古くは戦国の時代から、最近では金閣寺の放火炎上にあたるまで、大切な文化的遺産の数々が、いとも簡単に滅失

文化財を保存し、伝承して行く責任は、単にそれを持っている個人だけでなく、その地域、すなわち国の場合は国、県町の場合はそれぞれ県町民全体の責任で、言いかえれば社会公共の責任でもあると言ふことです。

共同責任でやるとすれば、その方法はどうすればよいのだろうか。まず、ひとつひとつ大事な文化財であることを調査して指定をしてみんなに知らせること。どうしてこれが町の文化的遺産なのか、その理由を町民によく公報することが必要でしょう。

責任は、単にそれを持っている個人だけでなく、その地域、すなわち国の場合は国、県町の場合はそれぞれ県町民全体の責任で、言いかえれば社会公共の責任でもあると言ふことです。

また、なくなつてしまふような技術などについては、誰か受け継いでくれる若い人を養成することが必要になってきます。

以上、子どもたちの話し合いの中で出された意見や考えにもとづいてまとめました。

大へん立派な、しかも文化財保護の核心をついた意見がたくさん出され、有意義な話しあいでした。また、公共の責任で文化財の調査指定をし、保存を行なうため国は昭和二十五年、町では昭和四十年にそれぞれ法を制定し、文化財の調査、指定に取り組んでいます。

また、なくなつてしまふような技術などについては、誰か受け継いでくれる若い人を養成することが必要になってきます。

鈴木副団長が退職

消防ひとすじ三十年

このほど、長い間消防団の幹部として活躍して来られた鈴木友吉副団長(常盤)が、家庭の都合で退職されることになりました。

鈴木さんは、旧町村時代から現在まで、三十余年の長いあいだ、消防ひとすじに活躍してこられた方で、その功績がたたえられます。近く消防庁長官からの表彰も予定されていることですが、私たちも「本当に長い間ご苦労様でした」と申し上げたいと思います。なお、鈴木副団長の退職にもなって、消防団幹部が一部異動しました。

充実する 消防体制

消防分署が店開き

町民体育館北側に建設がすすめられていた広域消防の朝日分署がこのほど完成し、さる十二月十日開所式が行なわれました。

完成した消防分署は、鉄筋コンクリート一部二階建て、延べ二四〇平方米のもので、一階は車庫・待機室・通信室のほか、仮眠室・浴室・洗面所などもあり、二階は事務室といった近代的な建物です。分署には、消防自動車一台が配

新幹部名

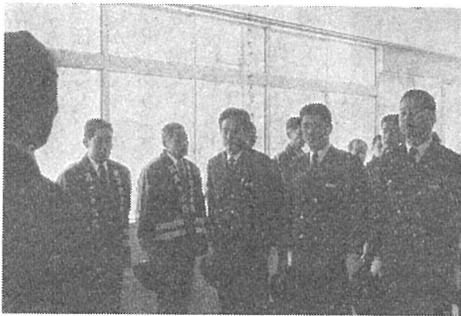
副団長阿部憲一郎(第三分団長)
第三分団長白田総内(第三副分団長) 第三副分団長 遠藤昭三(三の四部長)

節約運動を すすめよう

いま、私たちの社会には、終戦直後のような物資不足やインフレの嵐がふきまわっています。

とくに、石油製品や紙類など異常な不足・値上りの状態が見られます。これは、外国からの輸入が減った、原料が不足しているなど原因はありますが、私たちがあまりにも無駄使いしすぎたこともあり

備され、所長以下九名の職員が昼夜二交替で勤務に当ることになっ



るようです。

地球上の資源は無尽蔵ではありません。みんなが、節約、節減運動をすすめてみましょう。

電力の節減

○家庭の不用の照明は消灯すること。
○テレビ・コタツのつけ放しはしないように――

○外灯・門灯はできるだけ消灯すること。

○電気ストーブは必要最少限に
○電灯のかざなどはよく掃除し、効率的な使用を――

○テレビを見る時間を十割短かくしよう。早寝早起き運動を――

○アイロンは、布を区別して有効な使い方をしよう。

ています。今までの自衛消防団のほかに、この広域消防分署が完成したことで、朝日町の消防体制も一だんと充実することになります。

十日の開所式には、分署の職員はじめ志藤町長、鈴木議長など町関係者も出席、職員に対して町長から「町民も大きな期待を寄せています。」

町の消防団とも連携を深かく協力しあって、町民の期待に応えていただきたい」といった訓示があり、来賓祝辞などがあって式を終わりました。

【開所式で訓示をうける 分署の職員たち】

郵便局だより

現金送金は現金書留で

●違反には二倍の書留料

現金を郵便で送るときは、額の多少にかかわらず現金書留にしましょう。

現金書留にするときは郵便局で売っている現金封筒(一枚五円)を使用します。

そして、万一事故が起こることも備えて差し出すときに補償額を申し出ておくと完全です。

受領証は先方に到着したことを確認するまで保存しておきましょう。

普通郵便の中に現金を入れることは禁止されており、万一紛失しても補償されないばかりでなく、郵送途中発見されたときは差出人に返送されたうえ、書留料の二倍の金額を徴収されることになって

いますから注意しましょう。

その他、郵便局から送金する方法としては次のようなものがあります。

●郵便為替―証書にして送金する

●郵便振替―振替用紙で送金する

●定額小為替―証書にして送金する

●電信為替―大至急送金をする場合、電報で送金する

このようないろいろな送金方法があります。ご利用下さい。

孤立防止用 移動無線機を取付

非常災害に備えて

地震や風水害など非常災害時に朝日町と他市町村への市外通話が不通になった場合の応急措置用として、このたび山形朝日電報電話局と山形電報電話局間に無線電話一回線が開通しました。

この電話は、通信途絶による朝日町の孤立化を防止するためのものであり、あくまでも災害時に関係対策機関が非常緊急を要する連絡用通話のみ取扱うものであり、窓口で通話申し込みをさせていただきますと、申し込み順におつなぎ

スリップ事故に 注意しよう

これからは、車のスリップ事故が多くなります。車を運転される方は、慎重の上にも慎重な運転が望まれます。

路面が凍っている時は、チェーンをつけていても危険です。スピードの出すぎ、急ハンドルはいけません。ブレーキもききません。登り下り、急カーブなどは、とくに注意したいものです。

水泳優秀校で

全国表彰うける

宮宿小学校

このほど、宮宿小学校は山形県内で唯一つ、水泳優秀校として全日本水泳連盟から表彰されました。これは、全国の小中学校の中で



とくに優れた水泳記録を出した学校に贈られる名誉ある賞で、さる十二月三日、連盟の方がわざわざ宮宿小学校を訪れ、表彰状を伝達されました。

宮宿小学校では数年前から体育研究の指定校として、体育を生かした教育に取り組んできました。

そして、この水泳記録会では東北学童新記録、県学童新記録七を出すなど、県のランキング(五位まで)に二十名が入るといふ大活躍をみせました。こうしたすばらしい活躍がみ【表彰状を手に喜びの子どもたち】

とめられ、今回の表彰となったものです。

とくに、宮宿小学校の場合は、小数の人が優れているというのではなく、低学年から高学年まで全校生の層があつく、記録も優れている点が表彰の対象となったと言われます。

学校では、「研究校の指定をうけて学区民も一体となって、体育の向上に取り組んできたのが実を結んだものと思います。これから、なお一層力を入れて、表彰校にはじないようにしたいと思っています。とくに、冬期間もトレーニングを続けるようにしたい考えです。」と語っております。

町民卓球大会開く

宮宿郵政チームが優勝

第十回の町民卓球大会が、さる十二月十六日町民体育館で行なわれ、宮宿郵政チームが優勝をかざりました。大会には、九チームあわせて四十五名の選手が参加し、熱戦を展開した結果、団体が宮宿郵政チーム、男子シングルス齋藤正弘、女子シングルス長岡艶子、混合ダブルス清野豊春・長岡艶子組がそれぞれ優勝しました。

町民バレーボール大会開く

町職労が優勝

さる十二月二日、町民バレーボール大会が町民体育館で行なわれ、役場職労チームが優勝しました。

この大会には、各職場やグループから十チームが出場し、熱戦を展開しましたが役場職労Bチームが接戦の末優勝をかざりました。

- 優勝 役場職労Bチーム
- 準優勝 信友会チーム
- 三位 朝日相扶チーム
- 四位 村山建設チーム

成績は次のとおり

団体、優勝 宮宿郵政チーム



【熱戦のひとつ】

バドミントン大会に参加下さい

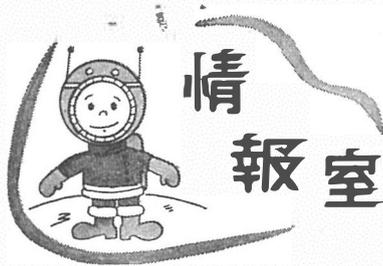
参加下さい

来る一月十三日(午前八時半より)町民体育館で、町民バドミントン大会が開かれます。ふるって参加ください。

申込みは八日まで(参加費個人百円、団体五百円)町教委へ

- 準優勝 清野建築チーム
- 三位 西五百川郵政チーム
- 男子シングルス
 - 優勝 齋藤 正弘(宮宿政)
 - 準優勝 大井 忠夫(西郵政)
 - 三位 清野 豊春(清野建)
- 女子シングルス
 - 優勝 長岡 艶子(太郎三)
 - 準優勝 長岡 美恵(高田)
 - 三位 関根美枝子(町職)
- 混合ダブルス
 - 優勝 清野豊春・長岡艶子組
 - 準優勝 高林 格・長岡美恵組
 - 三位 渡辺隆生・関根美枝子組

【熱戦を展開する卓球大会のひとつ】



図書館情報

新刊図書が入りましたので、ご利用ください。

やさしい石版画の実技(島崎清海) 鷗外全集24巻(森鷗外) 哀草果村里随筆第3巻(結城哀草果) 斎藤茂吉全集第5巻(斎藤茂吉) 万有百科大辞典(医学, 小学館) 日本国語大辞典(小学館) 選挙の話(公明選挙連盟) ポケットサイエンスⅣ, Ⅴ, 現代産業用語を追求事典, 新庄藩戊辰戦史(常葉金太郎) 寒河江小学校百年のあゆみ

求人情報

松村製作所, 男女社員募集

職種①機械技術要員, 板金塗装要員各5名 年齢間わず 経験者なお可

②営業部, 業務部一男子10名25歳位まで

③一般事務女子5名18歳~25歳位まで

給与, 高卒男50,750円 女47,750円

中卒男46,750円 女44,250円

昇給, 賞与年2回, その他各種保険制度あり, くわしくは当工場へ

形屋メリヤス, 男女従業員募集

職種①大型自動機械係5名(男子) ② Hoffman (アイロン) 係(男子) 1名

資格=15歳~40歳までの健康な方, 初任給=40,000円位, 交通費あり, 昇給年1回, 賞与年2回

③(女子) 編立2名, ミシン工3名, ロック2名, 裁断工4名, 糸巻2名, 仕上げ3名, 検品係1名, ネム係1名, アイロン2名, 昇給その他は①②と同じ。くわしくは当工場へ問合せ下さい。

石井製作所, 従業員募集

職種 キヤノン, ニコン, ヤシカ等のカメラ部品の製造工場です。

募集人員 35歳までの男子15名, 25歳までの女子2名

給与 男子50,000円~58,500円位

女子40,000円~46,000円位

昇給, 賞与年2回, その他各種保険制度あり, くわしくは当工場へ問合せ下さい。

道路情報

●降雪期です。屋根の雪おろしをする時には、道路に雪を出さないように協力ください。

●道路改良工事のため、次の路線で一部通行制限をしています。通行される方ご協力下さい。

- 国道 287号線四の沢, 中沢, 杉山地区内(片側通行)
●県道山形~朝日線古楨地区内
●町道三中線八ツ沼地区内, 滑田地区内
●西原線, 新崩線(舗そう工事)

朝日病院だより
帰郷して
お産される方へ
さいきん結婚して町外に出ておられる方が、故郷に帰ってお産をされる方がふえています。
そうした傾向は大へん喜ばしいことですが、出産予定日ぎりぎりになってから帰郷し病院に来られる方が見られます。少なくとも出産予定日の一カ月前には、朝日町に帰られて、できるだけ早く産婦人科医の定期検診をうけるようにしてほしいものです。
予定日ぎりぎりになってから、本人の知らない病気が発見された

味ぞ・しょう油は
不足していません
いろいろな物不足、値上りなどを予想して、買だめ、買急ぎをする人が見られますが、味ぞやしょう油は不足していません。
単なるムードや宣伝にまどわされて、買だめ、買急ぎをすることはやめましょう。

歳末たすけあいに
一万円寄贈
このほど、松程の鈴木栄吉さん(78歳)が役場を訪ずれ「恵まれない人たちのために使つて下さい」といって、現金一万円を寄贈されました。
町では、鈴木さんご厚情に感謝し、早速歳末たすけあいの
矢口部長さん
からも寄贈
このほど、寒河江警察署朝日駐在所の矢口源七さん(巡查部長)からも「恵まれない人たちのために使つて下さい」といって現金五千円が寄贈されました。
矢口さんは、このほど県社会福祉大会において県知事表彰をうけられたのを、記念に寄贈されたとのこと。町では矢口さんの温かい贈り物に心から感謝しております。
なお、たくさんの町民の方から寄せられた、ことしの歳末たすけあいの総額は二十七万六千四百七十円になり、民生委員などを通じて恵まれない方たちへ贈られました。

歳末たすけあいに

一万円寄贈

矢口部長さん
からも寄贈

高校生も
歳末たすけあいに

このほど、左沢高校朝日分校家庭クラブの代表の方が役場を訪ずれ、「恵まれない方たちへ」といって現金五千円を寄贈されました。

このほど、生徒さんたちの温かい善行に感謝し、歳末たすけあいのために使わせていただくことにしました。